

「あは♥だめよ〜僕う〜♥ しらないおぼさんに付いて行ったりしちゃう〜
そんな悪い子はおぼさんが搾り尽して殺してあげるからね〜♥」

「あひい///ららめえ〜♥」

「らめじゃないの、僕は悪い子だからこうやって食べられるのよ〜♥
ほらほら〜♥」

「あひいいい〜♥」

おぼさん淫魔にとつて貧民街はお気に入りの場所です。明日の食べる物も
事欠く貧民街で暮らす人達は食べ物をチラつかせればスグに釣れるからです



「あん♥おちんちんぴくぴくしてきたわ♥ もう漏れちゃうの？
出しちゃうの？ おぼさんの中にぴゅっぴゅっおちんちんぽミルク出しちゃうの？」

「ふあああ〜／＼／＼ ど、どいてえ〜／＼／＼ な、なにか…、もれちゃうう〜／＼／＼」

「エッチで〜、早漏で〜、初めてなの？ 本心に悪い子…♥
ほら、おぼさんでイっちゃいなさい♥」

「あっ♥」

空腹で食べ物に釣られた男の子に、淫魔から逃れる力などあろうはずが
ありません。そのまま成す術も無く漏らしてしまいました



「あ♥ ああああああー♥」

「あは♥ きたあ♥ 僕の青臭いセーシ♥ 奥にびゅって…♥」

「お、おとおお♥ おお——♥」

男の子の初めての射精と共に淫魔も思いつ切り吸い上げます。
激しい絶頂の快楽に男の子は頭が真っ白になってしまいました



「んふふ♥ ぴゅくん、ぴゅくんっておぼさんのおまんこの中に僕のセーシが命が流れ込んで来るわぁ♥」

「お♥ お♥ お♥ お♥」

「さあ、僕♥ おぼさんの中にせえ〜んふ漏らしてしまいなさい♥」

「おお〜♥ らめえ〜♥ らめえ〜♥ ひひぬ〜♥」

淫魔の膣内で射精した男の末路は確定しています。そのまま精子と共に命を漏らし続け絶命してしまうのです。それでも必ず、だけど弱弱しく身をよじる男の子の姿におぼさんは嗜虐心と母性がきゅんきゅんしてしまいます



「そうよ♡僕はおばさんにお漏らしして死んじゃうんだよ♡
このまま気持ち良くと死んじやいませうね♡」

「らめ♡…らめ♡…らめ♡…」

「諦めておばさんのおまんこで死んじやいなさい♡」

「らめ♡…らめ♡…らめ♡…あ」

こうして食べ物に釣られ、不用心におばさんの家に付いて行った貧民街の男の子は、おばさんに捕食されてしまいました。END

